

物流・ロジスティクスにおける
人材育成支援ガイド
2016

— 人材育成は、企業の盛衰を決める最大の経営戦略 —

目 次

◆日本ロジスティクスシステム協会は、人材育成のお手伝いをします	1
◆人材育成支援メニュー	2～23
領域区分	2～3
職場で活躍するこんな人材を育てたい！	4～5
JILSの資格制度とJILSが提供する人材育成支援メニュー	6
● ロジスティクス経営士資格認定講座	7
● 物流技術管理士資格認定講座	8
● 物流技術管理士補スクーリング	9
● ロジスティクス基礎講座	9
● 国際物流管理士資格認定講座	10
● 物流現場改善士資格認定講座	11
セミナー 一覧	12～13
● 各種セミナーのご案内	14～20
物流教育DVD	21
社内教育・コンサルティング・通信教育	22
人材育成のための支援ツール(手引書など)	23
◆企業事例から学ぶ	24～27
先進事例から学ぶ(講演会・研究会など)	24～25
物流改善事例から学ぶ(改善事例発表会など)	26
物流施設を見学して学ぶ	26～27
◆最新の調査結果より学ぶ	27
◆入会のご案内	27
◆ロジスティクスコンセプト2020	28
◆JILS-netのご案内	28
◆パンフレット送付依頼フォーム	29

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会は、 物流・ロジスティクスに関する人材育成のお手伝いをします。

ロジスティクスを取り巻く状況を展望してみると、わが国においては、製造業の国内生産回帰やEC市場の発展に伴い物流量が増加し、また、ドライバーをはじめとする労働力不足が深刻になり、円滑な物資の流通に大きな問題が生じております。

一方、海外に目を転じると、様々な地政学的リスクを抱えつつも、経済統合により今後も著しい経済発展が見込まれるASEAN各国や、インドや中南米諸国をはじめとした新興国の隆盛は、巨大なマーケットを生み出すと同時に競争を激化させることにもなります。

このような環境のなか、企業の存続、競争優位の確保と持続的な発展のためには、サプライチェーン上の各プレイヤーとの連携による物流の効率化とロジスティクス改革の実践が必要不可欠であり、これらの改革を推進しうるロジスティクスに精通した人材の育成が経営の重要課題の一つと言えます。

当協会では、各種資格認定講座やテーマ別セミナー、社内教育等、様々な形で企業の人材育成の支援をいたしております。これからの国内外の厳しい企業競争に勝ち抜き、持続可能な発展を遂げることのできるロジスティクスのスペシャリスト育成については、是非当協会のプログラムをご活用ください。

JILSが考える

物流・ロジスティクス領域で求められる人材イメージ

ロジスティクス領域

ロジスティクス領域では、調達・生産・販売・輸配送・返品・回収、そして再生にいたる過程を、経営戦略的な視野に立ち、部門や個別企業における部分最適を越えた企業間連携による全体最適を図ることが求められます。その高度化を担う企業の物流管理、ロジスティクス、SCM部門といった関係部門においては、下記のような人材が必要です。

- 戦略立案能力、問題解決能力、分析力等を有し、自社のロジスティクスにおける問題や課題解決策について、財務の視点から考えることができる。
- 財務諸表を分析し、経営の意思決定に必要な財務上の効果を取り入れたロジスティクス改革を提案できる。
- 物流・ロジスティクスの専門家として、社内外の関係者や顧客等の理解を得て、協力しながら部門・企業横断的な全体最適を主導できる。

物流管理領域

物流管理領域においては、受発注・輸配送・包装・荷役・流通加工等といった複数の物流機能を統合的に管理し、効率化・高度化を図ることによるコスト削減、精度向上、物流リードタイムの短縮等の実現が求められます。企業の物流管理部門等においては、このような業務を遂行するためには、下記のような人材が必要です。

- 物流・ロジスティクスに関する専門知識や管理技術を有し、コスト低減や効率化に向けた施策の立案および推進ができる。
- 物流・ロジスティクスの専門家として、顧客ニーズを適切に理解し、分析的な手法から課題を解決に導くことができる。
- 幅広い知識と視点から、新たなサービスを提案することができる。

物流業務領域

物流業務領域では、輸送・入荷・検品・保管・仕分・積付・出荷・配送といった個々の物流業務の管理およびこれらの業務改善を図ることで、作業生産性や物流品質、安全性の向上等を実現し、物流コストの低減に加えてCS（顧客満足）ならびにES（従業員満足）の向上を目指すことが求められます。このような業務を担う企業の物流業務部門においては、下記のような人材が必要です。

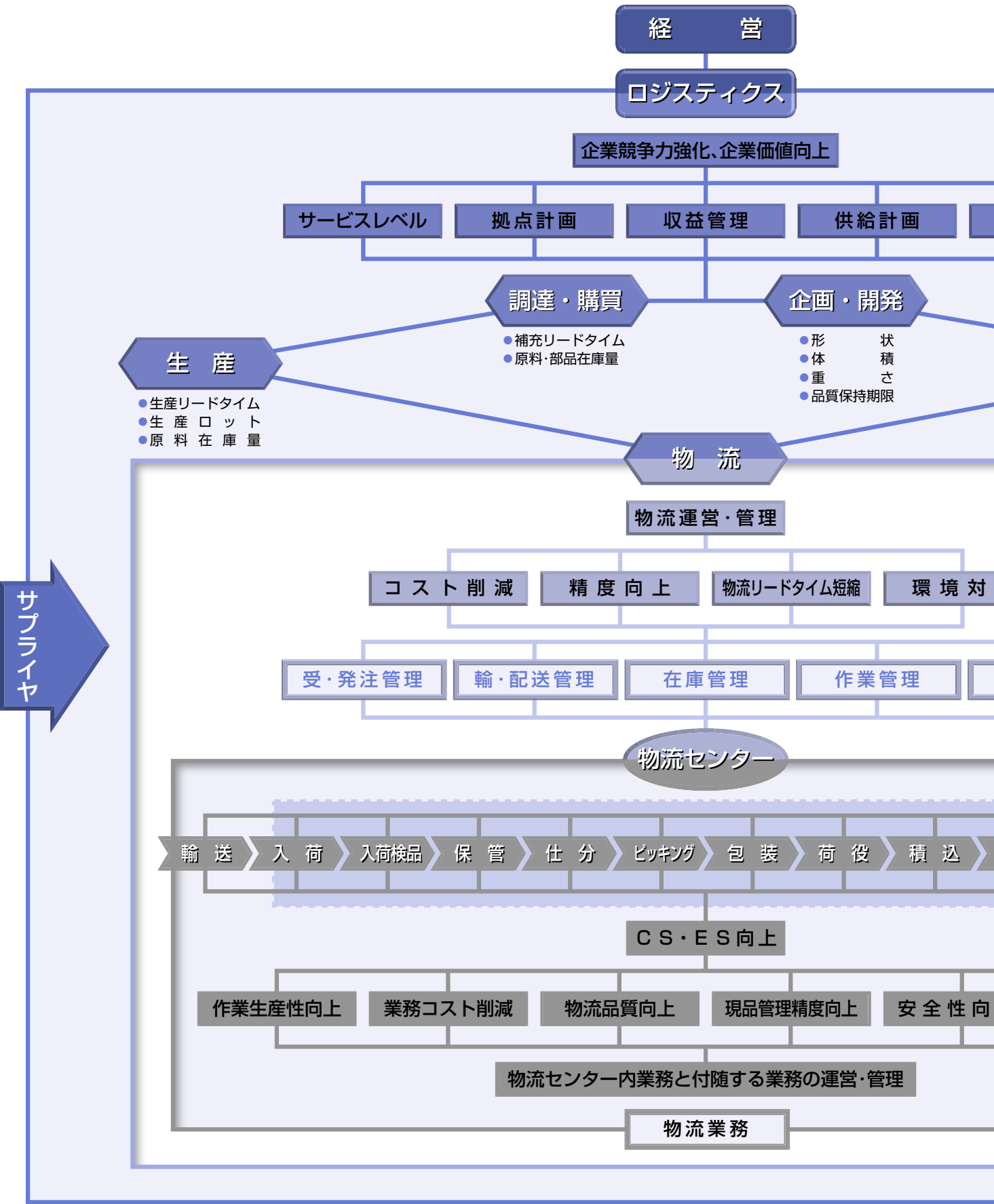
- 物流業務に関する専門知識や管理手法を有し、適切な現場運営・管理を行うことができる。
- 物流現場改善に関する専門知識、分析手法、改善技法を有し、実効性のある現場改善案を企画することができる。
- 問題点や改善効果を定量的にとらえ、関係者の理解や協力を得ながら、改善を実行することができる。

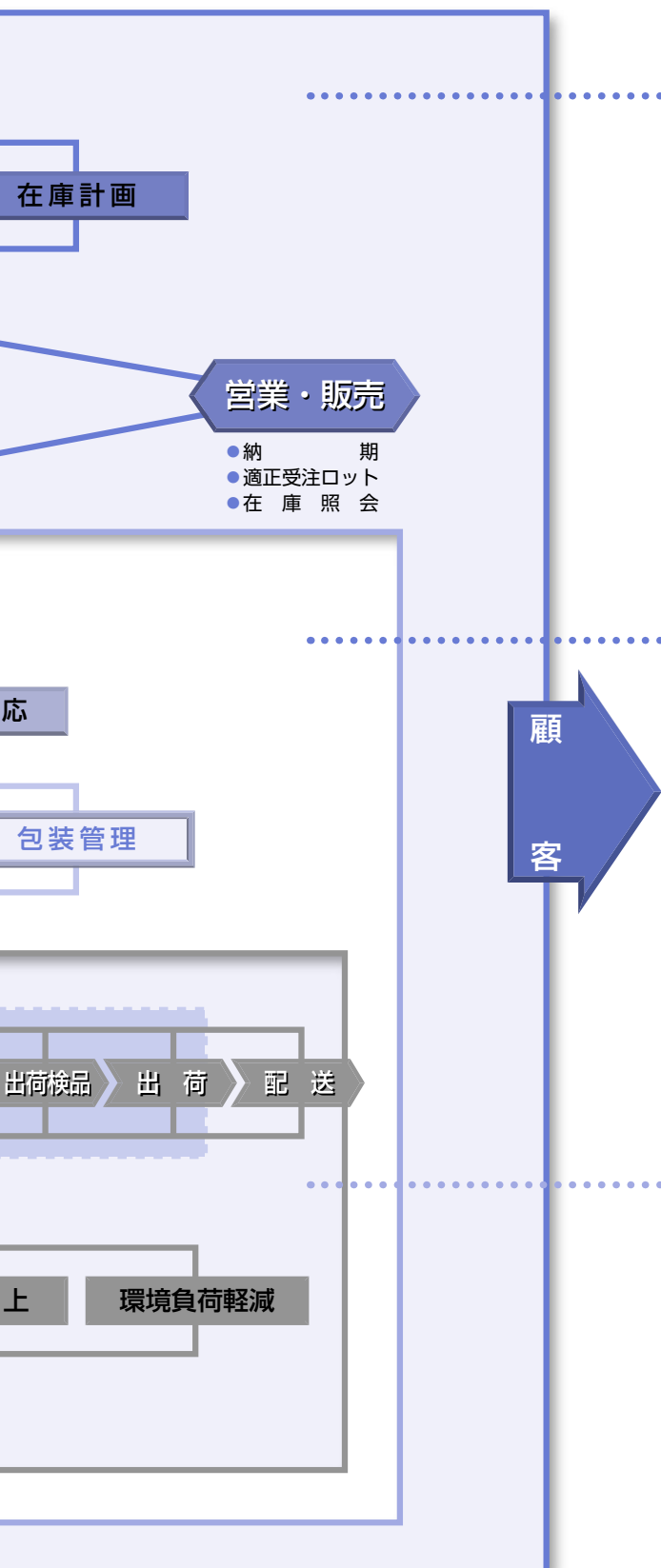
※ JILS では、対象範囲や対象業務、関係部門や役割等によって、「ロジスティクス」「物流管理（物流）」「物流業務」の3領域に区分しています。領域区分については、2～3ページのほか本ガイド34（番号）の「物流現場改善推進のための手引書（改訂版）」にて解説しています。

領域区分

「ロジスティクス」「物流」「物流業務」の3領域に区分して、「ロジスティクス」を構成する1つの業務を「物流」とし、「物流」のなかで物流センター内業務と付随する業務を「物流業務」としています。

「物流現場改善推進のための手引書（改訂版）」では「物流業務」の改善を「物流現場改善」と位置づけています。





【領域の区分】

ロジスティクス	
対象範囲	企画・開発、生産、物流、営業、販売を統合した範囲が対象
対象業務	企画・開発、調達・購買、生産、物流、営業・販売
関係部門	部門横断的（協力会社連携）
役割	サービスレベル、拠点計画、収益管理、供給計画、在庫計画 など

物 流	
対象範囲	複数の物流業務および工程を統合した範囲が対象
対象業務	受・発注管理、輸・配送管理、在庫管理、作業管理、包装管理
関係部門	物流部門
役割	コスト削減、精度向上、物流リードタイム短縮、環境対応 など

物 流 業 務	
対象範囲	ひとつの作業所（現場）で完結する、小集団が対象
対象業務	輸送、入荷、検品、保管、仕分、ピッキング、包装、荷役、積付、出荷、配送
関係部門	物流センター
役割	作業生産性向上、業務コスト削減、物流品質向上、現品管理精度向上、安全性向上、環境負荷軽減 など

ロジスティクスを設計・構築する

物流・ロジスティクスの全領域にわたる専門知識と管理技術を有し、現場、財務、経営、顧客等様々な視点からロジスティクスを設計し構築するため、JILSでは新入社員から経営幹部に至るまでの体系的な人材育成で、下記の能力を身につけたロジスティクススペシャリストを育成します。

- ・専門知識と管理技術を活かしたコスト低減や効率化の施策を立案し推進する。
- ・顧客ニーズを適切に理解し、分析的手法から課題解決に導く。
- ・社内外の理解と協力を得て、部門・企業横断的なロジスティクスの全体最適を先導する。
- ・幅広い知識と視点から、新たなサービスを提案する。

【ロジスティクスの基礎を体系的に学ぶ】

ロジスティクス基礎講座
物流技術管理士補スクーリング

物流現場改善活動を指揮する

あなたの会社には現場の改善活動を強力に推進するリーダーはいますか？ JILSは体系化された改善技法と現場で実践していくための活きたノウハウを提供し、下記の能力を身につけた現場改善リーダーを育成します。

- ・確かな知見から物流現場の問題点を把握する。
- ・専門的な分析手法を用い問題から課題を抽出する。
- ・課題解決のための方策を立案し数値で効果を示す。
- ・現場・社内外の関係者の理解を得て施策を実行する。
- ・改善の成果を評価し、横展開とさらなる取り組み！

【まずは現状評価、自己評価】

物流現場改善リーダーキャリアアップ診断
問題発見チェックリスト
現場活性サイクルチェックリスト
物流現場改善推進のための手引書

国際物流・貿易実務を担う

企業活動の国際化に伴い、グローバルロジスティクスのスペシャリスト育成のニーズが高まっています。JILSでは我が国唯一の国際物流のスペシャリスト育成講座である国際物流管理士資格認定講座を始めとした、下記の能力を習得できる場をご用意しています。

- ・国際物流や貿易実務の専門知識を学び、実務に活用する。
- ・グローバルレベルで全体最適を志向し、幅広い視点で新たな事業やサービスを企画・提案する。
- ・他社におけるグローバルロジスティクス高度化に向けた取組みを学び、自社の業務に応用する。

【映像で見て学ぶ】

教育DVD
グローバルロジスティクス入門

ロジスティクススペシャリスト

【テーマ別にロジスティクスを学ぶ】

輸配送効率化セミナー
これができる！ 収支日計
在庫適正化実践セミナー
物流コスト管理・削減実践セミナー
物流拠点管理実践セミナー 他

【ロジスティクス実務の全てを学ぶ】

物流技術管理士資格認定講座

【ロジスティクス経営戦略を学ぶ】

ロジスティクス経営士資格認定講座

【先進事例から学ぶ】

ロジスティクス全国大会
テーマ別研究会・講演会

物流現場改善リーダー

【テーマ・技法別に改善を学ぶ】

問題発見実践セミナー
物流IE実践セミナー
物流現場改善の進め方
物流現場リーダー育成セミナー
トヨタ式物流改善の極意セミナー

【改善を体系的に学ぶ】

物流現場改善士資格認定講座

【物流現場見学で知見を広める】

物流テクノロジー現地フォーラム
物流現場研究会

【改善成果を出して発表大会へ！】

全日本物流改善事例大会
関西物流改善事例発表会
中部物流改善事例発表会
九州物流改善事例発表会

グローバルロジスティクススペシャリスト

【国際物流・貿易実務の専門家を目指して】

国際物流管理士資格認定講座

【国際物流の基礎を学ぶ】

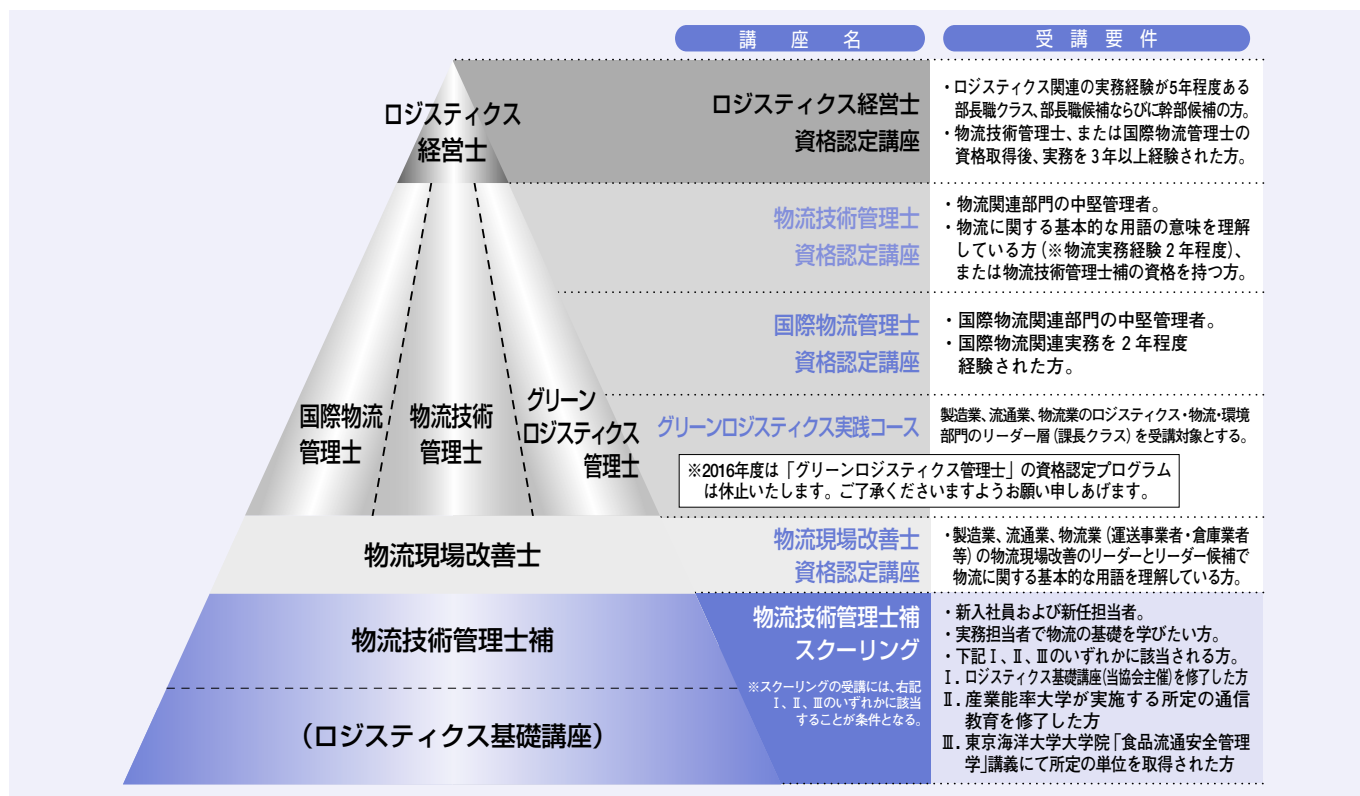
新任担当者のための
国際物流基礎セミナー

【先進事例から学ぶ】

ロジスティクス全国大会
テーマ別研究会・講演会



公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会の資格制度



JILS が提供する人材育成支援メニュー

資格認定講座

資格認定講座では、階層・領域別に物流・ロジスティクスに関する専門知識とマネジメント技術を習得したスペシャリストを育成し、資格を授与します。

新人・新任担当者を対象とした講座から、物流関連部門の中堅管理者を対象とした講座、トップマネジメント層を対象とした講座まで、様々な階層に対応した講座をご用意しています。また、国際物流、物流現場改善、グリーンロジスティクスについては、それぞれの領域に内容を特化して、専門家を育成する講座をご用意しています。

資格認定講座では、各専門分野における第一線の実務家、コンサルタント、学識経験者が、実務に即した講義を行ないます。また、ケーススタディによるグループディスカッションを多く取り入れることで、知識を実践に移すためのノウハウを身につけます。講義以外ではレポートや論文の作成を通じて、自身の業務に関する課題の整理や、改善計画の策定など、実務に役立つアウトプットを得ることができます。

さらに、資格認定講座では、長期間に渡り、多くの企業の方々と共に学び、交流を行ないます。そこで得られる様々な情報や企業を超えたネットワーク形成も資格認定講座の魅力の一つとなっています。

詳しくはP7～

テーマ別セミナー

セミナーでは、拠点管理、現場改善、国際業務、提案営業、コスト管理など、特定のテーマについての知識や技法を短期間で学びます。自社や自身が必要とする個別のテーマを選択して学習することができます。特に、さまざまなメニューから適したセミナーを活用することで、企業や、個人が今、抱えている実務での課題の解決に役立ちます。

詳しくはP12～

講演会・見学会 他

講演会や改善事例発表会を通じて、先進企業の取り組みや、現場改善事例等の情報発信をしています。他社の取り組みを学ぶことで、業務の課題解決や、高度化を図るヒントを得ることができます。現場見学会では、さまざまな企業の物流現場の仕組みを学ぶことができます。その他に、特定のテーマや事例についての情報交換や検討を行う研究会を開催しています。

詳しくはP24～

ロジスティクスを経営の視点からデザイン ～エグゼクティブのための専門講座～



概 要	● 実務経験豊富な委員・講師による講義や指導、実践的なケーススタディへの取り組みを通じて、製造業・流通業の物流・ロジスティクス関連部門の責任者や、物流企業の経営幹部に求められる、戦略的思考力、財務分析力、戦略立案力、課題解決力の強化を図ります。								
資格取得	● 本講座を修了し、所定の試験に合格した方に、「ロジスティクス経営士」の資格が授与されます。								
受講資格	● ロジスティクス関連の実務経験が5年程度ある、部長職クラスまたは部長職候補、ならびに幹部候補の方。 ● 物流技術管理士または国際物流管理士の資格取得後、実務を3年以上経験した幹部候補の方。								
期待される到達レベル	● 経営の視点を常に意識して、考えることができる。 ● 財務諸表を分析し、企業の課題を発見することができる。 ● 課題を把握し、優先順位をつけることができる。 ● 課題解決のための方策を立案することができる。 ● 課題解決案を他者に説明し、理解を得ることができる。 ● 自社の業界、自分の立場にとらわれず、自由で柔軟な発想ができる。								
合格基準	● 資格の合否判定は能力開発委員会 ロジスティクス経営士専門委員会が行い、以下の基準をすべて満たした場合、合格と判定される。 ① 講座の修了者であること。 ② 論文試験と面接試験を受験し、その合計点（100点満点）が80点以上であること。 * 配点内訳：論文試験40点／面接試験60点								
講 師	● 各専門分野の第一線の学識経験者、実務家、専門コンサルタント など								
会期・開催地・定員	6ヵ月間（14日程度） ● 第15期 2016年10月～2017年3月 東京（30名）								
受講料 （消費税込：1名につき）	<table> <tr> <td>① 会員</td> <td>432,000円</td> </tr> <tr> <td>② 会員外</td> <td>540,000円</td> </tr> <tr> <td>③ 有資格者優待（会員）</td> <td>378,000円</td> </tr> <tr> <td>④ 有資格者優待（会員外）</td> <td>486,000円</td> </tr> </table>	① 会員	432,000円	② 会員外	540,000円	③ 有資格者優待（会員）	378,000円	④ 有資格者優待（会員外）	486,000円
① 会員	432,000円								
② 会員外	540,000円								
③ 有資格者優待（会員）	378,000円								
④ 有資格者優待（会員外）	486,000円								

プログラム

【第1単元】 ロジスティクスと経営戦略

1. ロジスティクスと経営戦略
2. 経営戦略から見たSCM
3. 企業競争力としてのロジスティクス戦略
4. SCMとベンチマーキング
5. 経営戦略と情報技術（IT）
6. 先進企業のSCM実践事例

【第2単元】 ロジスティクスと経営管理

1. 財務分析と経営管理指標
2. ロジスティクスと在庫マネジメント
3. ロジスティクスと経営の評価
4. ロジスティクスと経営の評価（企業事例）
5. ABM（Activity Based Management）
～活動基準原価計算とコストコントロール～
6. 財務諸表による競合比較

【第3単元】 コーポレート・ガバナンスとリスクマネジメント

1. 企業経営とリスクマネジメント
2. コーポレート・ガバナンスとリスクマネジメントの実践

【第4単元】 ロジスティクスにおける企業間コラボレーション

- コーディネータ、発表者による講演
- 受講者参加によるディスカッション

【第5単元】 組織・人事マネジメント

1. 組織の設計と基本デザイン
2. 企業事例

【第6単元】 ロジスティクスと環境

1. 企業経営と環境問題対応
2. 企業事例

【第7単元】 グローバリゼーション

1. ロジスティクスとグローバリゼーション
2. 企業事例

【第8単元】 ロジスティクスの戦略立案（ケーススタディ）

ケーススタディ

架空企業を題材としたケーススタディ（2つの例題／論文執筆のためのケースブック）に取り組み、ロジスティクスの戦略立案について実践的に学びます。

グループ・ミーティング（全3回）

グループメンバー相互の発表やディスカッション、委員からの指導を通じて自社のロジスティクスの課題を整理し、解決案について検討します。



物流管理者および物流技術者として必要な、物流・ロジスティクスの全領域にわたる専門知識およびマネジメント技術を総合的かつ体系的に学ぶ専門講座

概 要	● 物流技術管理士資格認定講座は、物流管理者および物流技術者として必要な、物流・ロジスティクスの全領域にわたる専門知識およびマネジメント技術を総合的かつ体系的に学ぶ講座です。 ● 製造業・流通業、物流事業者、物流子会社の方を中心として、例年、約500名の方にご受講いただいております。								
資格取得	● 本講座を修了し、所定の試験に合格した方に、「物流技術管理士」の資格が授与されます。								
資格認定規程(抜粋)	● 会期中（18日間）、14日以上出席すること。 ● 前・後期2回分の受講レポートを提出していること。 ● 客観試験（前・後期に筆記試験を2回実施）、論文試験、面接試験の全てを受験し、それぞれの試験の得点が満点の6割以上であり、かつ、すべての試験の合計点から欠席点と受講レポート遅延の減点を引いた総合点が60点以上であること。 ※資格認定規程については、開講式で詳細を説明いたします。ご不明な点は事務局にお問い合わせください。								
受講資格	● 物流に関する基本的な用語を理解している方。 ● 物流実務経験2年程度の方。 ● 物流技術管理士補の有資格者。								
講師	● 各専門分野を代表する学識経験者、実務家、専門コンサルタント など								
会期・開催地・定員	6～7ヵ月間（18日） ● 第119期 2016年 5月～2016年10月 東京（110名） ● 第120期 2016年 6月～2016年12月 大阪（80名） ● 第121期 2016年 9月～2017年 3月 名古屋（50名） ● 第122期 2016年 9月～2017年 3月 東京（110名） ● 第123期 2016年10月～2017年 3月 大阪（80名）								
受講料 (消費税込：1名につき)	<table> <tr> <td>①会員</td><td>486,000円</td></tr> <tr> <td>②会員外</td><td>594,000円</td></tr> <tr> <td>③有資格者優待（会員）</td><td>432,000円</td></tr> <tr> <td>④有資格者優待（会員外）</td><td>540,000円</td></tr> </table>	①会員	486,000円	②会員外	594,000円	③有資格者優待（会員）	432,000円	④有資格者優待（会員外）	540,000円
①会員	486,000円								
②会員外	594,000円								
③有資格者優待（会員）	432,000円								
④有資格者優待（会員外）	540,000円								



プログラム

【プレミーティング】（2日）

問題の発見と解決（グループ演習）

【第1単元】 経営とロジスティクス（1日）

1. 企業価値を高めるロジスティクスの役割
2. ロジスティクスにおける顧客サービス
3. ロジスティクス戦略とネットワーク
4. ロジスティクスIT概論

【第2単元】 物流コスト管理（1日）

1. 物流コスト管理概論
2. 物流ABCの活用

【第3単元】 物流拠点管理（2日）

1. 保管・荷役とマテハン機器
2. 物流拠点におけるIT活用
3. 生産性と品質管理
4. 物流拠点管理概論（グループ演習）

【第4単元】 輸配送管理（2日）

1. 輸配送管理概論
2. 輸配送におけるIT活用
3. 輸配送システムの構築（個人演習）

【第5単元】 包装技術（0.5日）

1. 包装技術概論

【第6単元】 物流現場改善（1.5日）

1. 科学的管理技法概論
2. 物流現場の改善技法（個人演習）

【第7単元】 総合演習Ⅰ（2日）

物流改善演習（グループ演習）

【第8単元】 在庫管理とSCM（1日）

1. 在庫管理とSCM概論
2. SCMの実務
3. 在庫管理の実務

【第9単元】 グローバルロジスティクス（0.5日）

1. グローバルロジスティクス概論

【第10単元】 グリーンロジスティクス（0.5日）

1. グリーンロジスティクス概論

【第11単元】 物流アウトソーシングと3PL（1日）

1. 物流アウトソーシング、3PL
2. 3PLと契約

【第12単元】 ロジスティクスの社会的役割（1日）

1. CSR
2. 標準化
3. 行政の動向

【第13単元】 総合演習Ⅱ（2日）

物流改革演習（グループ演習）

概 要	- ロジスティクス構築による経営革新に向けた計画の立案に取り組んでいただくグループ演習をカリキュラムの中心に据えています。 - 通信教育や講座、講義で学ばれた知識を計画立案時にどのように活用すればよいか、企業事例をベースとしたグループ演習を通じて実践的に経験していただくことを目的としています。
資格取得	事前に課題レポートをご提出いただいた後、本講座に2日間出席し、修了した方に「物流技術管理士補」の資格が授与されます。
受講資格	- ロジスティクス基礎講座の修了者。 - 産業能率大学が実施する所定の通信教育修了者。 - 東京海洋大学大学院「食品流通安全管理学」講義における所定単位取得者。 ※受講前に課題レポートの提出があります。

会期・開催地・定員	2016年7月 (2日間) 大阪 (40名) 2016年8月 (2日間) 東京 (80名) 2016年9月 (2日間) 名古屋 (40名) 2017年2月 (2日間) 東京 (60名)
参加料 (消費税込:1名につき)	74,520円

プログラム

【第1日目】

1. ロジスティクス戦略の最新動向
2. ロジスティクスシステム構築による経営革新 【演習】
・演習問題の説明 ・グループ討議

【第2日目】

3. ロジスティクスシステム構築による経営革新 【演習】(前日の続き)
・グループ討議 ・討議結果発表／講評
・解説
4. 認定証授与

概 要	- 物流・ロジスティクスに関わる基礎知識や技法を体系的に学習するための講座です。 - ロジスティクスの基本から物流現場のオペレーションまで、わかりやすく解説し、実務に直結するカリキュラムになっています。 - 受講者の方々に講義内容の理解を深めていただくために、事前課題レポート(前半1回、後半1回)をご提出いただきます。 - 本講座を修了された方には「修了証」を授与いたします。
修了規定	講座を全日(4日間)出席し、事前課題レポート2回を提出すること。
資格取得	本講座を修了後、当協会が主催する「物流技術管理士補スクーリング」(2日間)を受講され、修了された方には、「物流技術管理士補」の資格を授与いたします。
対 象	- ロジスティクス関連部門の新入社員・新任担当の方。 - 上記部門以外でロジスティクスの基礎知識を身につけたい方。
講 師	各専門分野を代表する学識経験者、実務家、専門コンサルタント など
会期・開催地・定員	(4日) - 第57期 2016年 4月～2016年 5月 大阪(50名) - 第58期 2016年 5月～2016年 6月 東京(90名) - 第59期 2016年 6月～2016年 7月 名古屋(50名) - 第60期 2016年10月～2016年11月 東京(80名) - 第61期 2016年11月 福岡(40名)
受講料 (消費税込:1名につき)	①会員 86,400円 ②会員外 102,600円

プログラム

【第1日目】

- I. ロジスティクス概論 (1)
【ロジスティクスの概念(物流との違い)、機能、構造、経営とロジスティクス 等】
ロジスティクス概論 (2)
【顧客満足と顧客サービス、在庫マネジメント、アウトソーシングと3PL 等】
- II. ロジスティクス・オペレーションの基本機能
①包装【包装の概要、機能、目的、管理のポイント、材料・形状、包装における環境対策 等】

【第2日目】

- ②輸配送 (1)
【輸送モードの特徴(トラック、鉄道、海運、航空)、輸送システム構築のポイント 等】
- ③輸配送 (2)
【モーダルシフト、ユニットロードシステム、輸配送における環境対応 等】
- ④保管
【保管の概要、倉庫管理のポイント(レイアウト、流通加工など)、保管コスト 等】

【第3日目】

- ⑤荷役
【荷役の目的、荷役作業(仕分け、ピッキングなど)、マテハン機器の種類と特徴 等】
- ⑥情報システム (1) ≪情報システムの概要≫
【IT・情報システムの基礎(自動認識技術、EDI、インターネット、パッケージ) 等】
- ⑦情報システム (2) ≪業務活用ソフトウェア≫
【各物流情報システムの概要と特徴(受発注、在庫管理、倉庫管理、輸配送管理) 等】

【第4日目】

- III. 在庫管理
【目的、機能、手法、受発注・生産と在庫】
- IV. ロジスティクスコスト
【ロジスティクスコストとは、コスト管理、Activity Based Costing、サービスレベルとコスト】
- V. ロジスティクスの課題と展望
【社会システム、グローバルネットワーク、環境対応】

国際物流スペシャリストを育成する専門講座



概 要	● 国際物流管理士資格認定講座は、国際物流スペシャリストとして必要な専門知識を総合的、体系的に学ぶ講座です。
資格取得	● 本講座を修了し、所定の試験に合格した方に、「国際物流管理士」の資格が授与されます。
資格認定規程(抜粋)	● 出席に関する規程 講座期間中、14日以上出席すること。単元欠席（ひとつの単元の講義を全日欠席すること）がないこと。 ● 試験に関する規程 客観試験およびレポート試験（5回）をすべて受験し、それぞれの得点が70点以上（100点満点）であること。 レポート試験と客観試験の平均点（100点満点）から、欠席点を引いた得点が70点以上であること。 なお、欠席点は1日につき1点、半日につき0.5点とする。 ※資格認定規程の詳細は、講座の開講時に、事務局よりご説明いたします。
受講資格	● 国際物流関連業務に従事し2年程度の経験を有する方。
対 象	● 国際物流のスペシャリストを志向する方。 ● 国際物流に携わる中堅管理者、担当者。
講 師	● 各専門分野を代表する学識経験者、実務家、専門コンサルタント など
会期・開催地・定員	6ヵ月間（19日） ● 第38期 2016年9月～2017年3月 東京（35名）
受講料 (消費税込：1名につき)	①会員 432,000円 ②会員外 540,000円 ③有資格者優待（会員） 378,000円 ④有資格者優待（会員外） 486,000円



プログラム

【第1単元】 国際物流とグローバルロジスティクス（2日）

1. 国際物流とロジスティクス
 2. グローバル調達ネットワークとロジスティクスの理論
 3. グループ討議
- ◆ キックオフミーティング

【第2単元】 輸出入業務（2日）

1. 輸出入における通関業務と保税手続き、通関システム
2. 輸出入とインコタームズ、ウイーン売買条約
3. 貿易売買契約と各種決済方法、外国為替とリスクヘッジ、国際ファイナンス

【第3単元】 海上輸送（2日）

1. 海上貨物輸送概論
2. 海上個品運送契約／船荷証券／Sea Waybill／複合運送証券
3. NVOCCと国際複合輸送
4. 海上運送における特殊貨物（危険物）概論
5. 国際物流におけるコスト削減に向けた取り組み事例

【第4単元】 航空輸送（1.5日）

1. 航空貨物輸送概論
2. 航空運送約款・航空運送状・航空貨物運賃
3. フォワーダーから見た航空輸送

【物流施設見学】（1日）

【第5単元】 国際物流のリスクマネジメントと保険（1.5日）

1. リスクマネジメント概論
2. 国際物流におけるリスクマネジメントとロスプリベンション
3. 貿易貨物保険とクレームの実務

【第6単元】 SCMと3PL（3日）

1. 在庫管理とSCM
2. 3PL概論
3. 3PL企業事例
4. グループ討議

【第7単元】 世界の最新物流事情（2日）

1. 米国の最新物流事情
2. 欧州の最新物流事情
3. インドの最新物流事情
4. 中国の最新物流事情
5. 東南アジアの最新物流事情

【第8単元】 海外現地における物流構築・改善（2日）

1. 海外現地における人材マネジメント方策
2. 海外現地における品質向上に向けた取り組み
3. 国際物流戦略における釜山港の利用
4. ITによる国際物流の見える化
5. 海外現地における物流構築・改善の実例

【第9単元】 ケーススタディ（2日）

1. ケーススタディ「グローバルロジスティクス改革」

● レポート試験（5回…第2、3、4、5、6単元）

● 客観試験

物流現場改善をデータで議論、数値で管理し、改善を実践する 物流現場改善リーダー育成のための専門講座

概 要	- グループディスカッション、演習を多く取り入れ、理論・知識を実務で・活用するための実践力を身に付けます。 - 実際の企業の物流現場をモデルにしたケーススタディに取り組みます。 - 講座の成果として受講者の担当職場の改善実行計画が完成します。
資 格 取 得	本講座を修了し、所定の試験に合格した方に、「物流現場改善士」の資格が授与されます。
受 講 対 象	製造業・流通業、物流業（運送事業者・倉庫業者等）の物流現場改善のリーダーとリーダー候補で物流に関する基本的な用語を理解している方。
期待される到達レベル	- 物流業務における問題点を常に意識し、問題点を把握することができる。 - 把握された問題点を、各種の分析手法を用い分析し、課題を抽出することができる。 - 抽出された課題に優先順位をつけ、課題解決のための方策を立案することができる。 - 課題解決案を社内外の関係者に説明し、理解を得、実行することができる。 - 実行した課題解決の結果を評価できる。
合 格 基 準	- 資格の合否判定は能力開発委員会 物流現場改善士専門委員会が行い、以下の基準を満たした場合、合格と判定される。 - 講座の修了者であること。 - 下記4つのレポート試験のすべてを受験し、改善実行計画レポート2の点数（100点満点）が60点以上であること。 ①「問題発見レポート」 ②「改善企画レポート」 ③「改善実行計画レポート1」 ④「改善実行計画レポート2」
講 師	各専門分野を代表する学識経験者、実務家、専門コンサルタント など
会期・開催地・定員	5ヵ月間（10日） 第7期 2016年6月～2017年1月 東京（68名）
受 講 料 (消費税込：1名につき)	①会員 291,600円 ②会員外 399,600円

プログラム

【第1单元】 物流現場改善概論

1. 物流現場業務改善概論

【第2单元】 現状把握力の強化

1. 問題発見の基礎
2. 問題発見のヒント

【第3单元】 改善企画力の強化

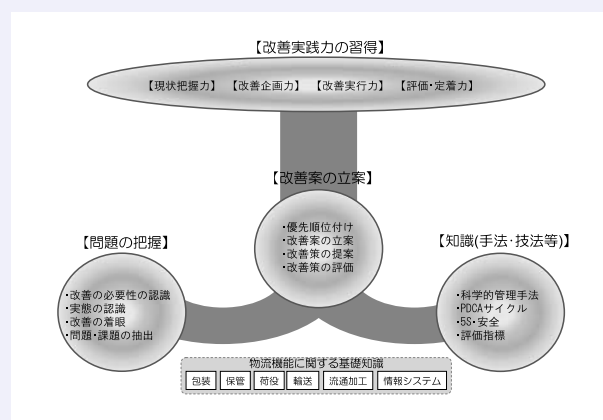
1. 振返り演習－1
2. 物流コスト分析
3. 科学的管理手法の習得＜QC・新QC＞
4. 科学的管理手法の習得＜IE＞

【第4单元】 改善実行力・評価・定着力の強化

1. 振返り演習－2
2. 改善実行の推進について
3. 物流現場改善の評価・定着・横展開
4. 物流評価指標・KPI
5. ケースの出題・説明

【第5单元】 物流現場改善立案：ケーススタディ

1. 振返り演習－3
2. レポート指導
3. ケーススタディのグループディスカッション
4. グループごとの提案書発表
5. 講評とまとめ



物流現場改善士資格取得者に授与されるバッジ

2016年度 開催予定セミナー 一覧

東京開催

NO.	セミナー名	2016年										2017年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
8	営業で勝つために効くセミナー			●										
9	物流ABCによるコストの徹底削減基礎セミナー			●										
10	「物流提案営業の進め方」実践セミナー				●									
11	新任担当者のための国際物流基礎セミナー				●								●	
12	たった一日でよく判る物流コスト基礎セミナー				●									
13	利益を出すための提案営業演習セミナー					●								
14	物流IE実践セミナー					●								
17	輸配送効率化実践セミナー							●						
18	「しってるをしてるに!! トヨタ式物流改善の極意」セミナー							●						
19	これでできる！ 収支日計								●					
20	荷主物流担当者のための物流アウトソーシング＆マネジメント「再」強化セミナー								●					
16	在庫適正化実践セミナー											●		
21	物流高度化実現のための3PLプロバイダーの選定と運用											●		
22	物流コスト管理・削減実践セミナー											●		
24	物流現場リーダー育成セミナー											●		
25	物流センター長のための物流拠点管理実践セミナー											●		
26	「問題発見」実践セミナー											●		

大阪開催

NO.	セミナー名	2016年										2017年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
7	物流管理者のためのマネジメント基礎セミナー		●											
10	「物流提案営業の進め方」実践セミナー			●										
12	たった一日でよく判る物流コスト基礎セミナー				●									
15	物流現場改善の進め方						●							
16	在庫適正化実践セミナー						●							
17	輸配送効率化実践セミナー							●						
18	「しってるをしてるに!! トヨタ式物流改善の極意」セミナー								●					
20	荷主物流担当者のための物流アウトソーシング＆マネジメント「再」強化セミナー								●					
8	営業で勝つために効くセミナー											●		
23	よくわかる!! 情報システム基礎セミナー											●		
24	物流現場リーダー育成セミナー											●		

名古屋開催

NO.	セミナー名	2016年										2017年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
17	輸配送効率化実践セミナー											●		
25	物流センター長のための物流拠点管理実践セミナー												●	

概 要	● 現場管理者にとって必要な計画策定から物流遂行までのマネジメントスキルについて、講義・演習を通じて学びます。	
対 象	● 物流現場を監督・管理する新任の部長・課長・センター長・マネジャー ● 上記以外で物流現場におけるマネジメントの基礎を身につけたい方	
会 期	● 2016年5月	
開 催 地	● 大阪	
定 員	● 30名	
参 加 料 (消費税込)	① 会 員 (1名につき)	37,800円
	② 会員外 (1名につき)	54,000円

プログラム

1. 企業経営とロジスティクス戦略
2. 物流サービスと顧客満足
3. 在庫管理
4. 3PLとアウトソーシング
5. 現場力の強化
6. 現場におけるCSRとコンプライアンス

概 要	● 荷主企業の物流ニーズを的確に把握し、自社の物流サービスとその優位性を理解した上で荷主企業に効果的なアプローチを行うための方法を具体的な事例を交えながらわかりやすく解説いたします。	
対 象	● 物流子会社、物流事業者の営業部門、企画部門の方	
開 催 地 期	① 東京 2016年6月 ② 大阪 2017年2月	
定 員	● 30名	
参 加 料 (消費税込)	① 会 員 (1名につき)	37,800円
	② 会員外 (1名につき)	54,000円
参 加 特 典	● 『すぐに使える提案書作成の基本フレーム』を進呈	

プログラム

1. 荷主の物流ニーズの現状
2. 物流業界におけるマーケティング手法
3. 営業で勝つために準備すべき事項
 - 営業戦略編
 - ソール編
 - ネットワーク編
4. 勝つための提案営業の基本
 - 営業先の見つけ方 (ターゲットセグメント)
 - 提案アプローチと事前準備
 - 他社と違う提案書作成のポイント
 - プレゼンテーションの6箇条

概 要	● 物流ABCの具体的な算定方法や分析・活用方法について講義と演習を通じて学びます。	
対 象	● 物流センターの管理者 ● 物流コスト管理担当者	
会 期	● 2016年6月	
開 催 地	● 東京	
定 員	● 30名	
参 加 料 (消費税込)	① 会 員 (1名につき)	37,800円
	② 会員外 (1名につき)	54,000円

プログラム

1. 物流ABCが物流管理を変える
2. 物流ABC早わかり入門
3. 物流ABC計算のステップ
4. 物流ABC算定演習
5. 物流ABCによる作業改善事例
6. 「採算を考えない顧客サービスの是正」への挑戦事例
7. 物流事業者における物流ABC活用事例

概 要	● 提案営業による新規顧客開拓の事例、提案営業に必要な手法、企画書の評価や内容の検証方法等について学びます。	
対 象	● 物流子会社、物流事業者の営業部門、企画部門の方	
開 催 地 期	① 大阪 2016年6月 ② 東京 2016年7月	
定 員	● 30名	
参 加 料 (消費税込)	① 会 員 (1名につき)	37,800円
	② 会員外 (1名につき)	54,000円

プログラム

1. 物流提案営業の基本
2. 提案型営業の進め方 ～ステップ別解説～
ステップ1：マーケティングフェーズ
ステップ2：提案フェーズ
(演習：ヒアリングシートの作成)
ステップ3：実行フェーズ
3. 提案書作成とプレゼンテーション
① いい提案書の条件・提案書の種類
② 実際の提案書による事例研究
③ 提案書作成とプレゼンテーションのポイント
4. まとめ

概 要	● 初めて国際物流に携わる方々を対象に、国際物流の基礎を体系的に学びます。	
対 象	● 国際物流、貿易関連部門の新入社員、新任担当者の方 ● 上記部門以外で国際物流の基礎知識を身につけたい方	
会 期	① 2016年7月 (2日間) ② 2017年3月 (2日間)	
開 催 地	● 東京	
定 員	● 30名	
参 加 料 (消費税込)	① 会 員 (1名につき)	64,800円
	② 会員外 (1名につき)	86,400円

プログラム

<1日目>

1. 国際物流概論
 - 1) 国際物流の基礎知識
 - 2) ロジスティクスとサプライチェーンマネジメント
2. 貿易実務の基礎
 - 1) 貿易取引の概要
 - 2) 取引交渉から契約の流れ
 - 3) インコタームズ2010

<2日目>

3. 貿易実務の各業務
 - 1) 海上輸送
 - 2) 航空輸送、複合一貫輸送
 - 3) 貿易の枠組みと通関
 - 4) 決済の仕組み
 - 5) 船積み書類
 - 6) 保険業務

概 要	● 一日で物流コスト構造から、見える化、物流KPIの設定、適切な物流コスト削減の着眼点までを判りやすく解説します。	
対 象	● 製造業、流通業の物流部門および物流企業の管理者、スタッフの方々	
開 催 地 期	① 東京 2016年7月 ② 大阪 2016年7月	
定 員	● 30名	
参 加 料 (消費税込)	① 会 員 (1名につき)	37,800円
	② 会員外 (1名につき)	54,000円

プログラム

1. 物流コストの基礎知識
2. 物流コスト管理の実際
3. 物流コスト算定 (演習)
4. 物流コスト削減の着眼点
5. これからの物流コスト管理

13

利益を出すための提案営業演習セミナー

営業

概 要	● 物流事業者が提案営業を成功させるためのポイントについて、講義・演習を通じて学びます。
対 象	● 物流子会社、物流事業者の営業部門、企画部門の方
会 期	● 2016年8月
開 催 地	● 東京
定 員	● 30名
参 加 料 (消費税込)	① 会 員 (1名につき) 37,800円 ② 会員外 (1名につき) 54,000円
参加特典	● 『すぐに使える提案書作成の基本フレーム』を進呈

プログラム

1. 真の顧客（荷主）ニーズとは
 - ① 聞いてきたのは、荷主の本当のニーズか？
 - ② 利益の出せる受注を取るポイント
 - ③ 荷主の真のニーズはどこにあるのか？
2. 物流提案営業のアプローチ
 - ① 受注が取れる担当者、企業の要件
 - ② 役職別、タイプ別の攻略方法
 - ③ 業務調査から提案までの手順と内容
3. グループ演習
 - ① 提案書の作成
 - ② プレゼンテーション [物流事業者と荷主の立場で]
4. まとめ

14

物流 IE 実践セミナー

物流現場

概 要	● 物流センターや工場内における物流作業を対象に、IEアプローチを用いた改善の実践手法を学びます。
対 象	● 物流部門リーダー ● 物流センター長 ● 物流企画・運営・改善スタッフ ● 生産管理スタッフ
会 期	● 2016年8月（2日間）
開 催 地	● 東京
定 員	● 30名
参 加 料 (消費税込)	① 会 員 (1名につき) 64,800円 ② 会員外 (1名につき) 86,400円

プログラム

<1日目>

1. 物流IEとは
 - 物流を改革するインダストリアル・エンジニアリング
2. 物流作業を定量化する
 - 物流作業の標準時間をいかに設定するか
3. 標準時間の適用事例を学ぶ
 - 作業計画管理と作業料金設定

<2日目> グループ演習

4. 現状の作業人員ははたして適正か
 - VTRを見て作業分析、改善案検討、改善案発表
5. 物流ABC（活動基準原価計算）のための作業分析
 - 物流センター作業の物流ABC
 - アクティビティ、オペレーションの分類
 - 発表、講評

15

物流現場改善の進め方

物流現場

概 要	● 物流現場における初歩的な管理項目や改善基礎知識、分析手法を学びます。
対 象	● 新任の物流部門・物流センター管理の実務担当者の方
会 期	● 2016年9月
開 催 地	● 大阪
定 員	● 30名
参 加 料 (消費税込)	① 会 員 (1名につき) 37,800円 ② 会員外 (1名につき) 54,000円

プログラム

1. 物流現場管理の基礎
2. 問題・課題を正しく捉える
3. 問題点を明らかにする分析手法（演習）
4. 物流現場の改善手法
5. 物流品質の考え方
6. 物流業務改善の体系的な進め方

概 要	● 製造業や流通業等の荷主企業における在庫のあり方やその適正化に向けたポイントについて、講義と演習を交えて学びます。	
対 象	● 製造業、流通業等の荷主企業におけるSCM、ロジスティクス、物流部門の係長、担当者の方 ● 物流子会社、物流事業者の方で、荷主企業の在庫管理に関心のある方	
開 催 地 期	① 大 阪 2016年9月 ② 東 京 2017年2月	
定 員	● 30名	
参 加 料 (消費税込)	① 会 員 (1名につき)	37,800円
	② 会員外 (1名につき)	54,000円

プログラム

1. 企業における在庫
2. 在庫適正化へのアプローチ
3. グループ演習
 - ・在庫・出荷実績データ等に基づく問題点の整理と改善・改革の方向性を検討するグループ演習を予定しています。
4. 事例紹介
5. まとめ

概 要	● 輸配送業務における生産性の向上とコスト削減を推進するための業務改善ステップや組織連携のアプローチなどについて事例を交えて解説します。	
対 象	● 製造業・流通業および物流管理会社、物流事業者の輸配送・配車管理者の方	
開 催 地 期	① 東 京 2016年10月 ② 大 阪 2016年10月 ③ 名古屋 2017年2月	
定 員	● 30名	
参 加 料 (消費税込)	① 会 員 (1名につき)	37,800円
	② 会員外 (1名につき)	54,000円

プログラム

1. 輸配送の基本
2. 輸配送のムダを把握する
3. 輸配送コストを見える化する
4. 輸配送コストを下げる
5. 効率のよい輸配送を目指す
6. 輸配送のコストダウン成功事例

概 要	● トヨタ式物流改善の手法を実演などを通じ、解説します。	
対 象	● 製造業、流通業および物流管理会社、3PL、物流企業の管理者および改善推進リーダー担当の方々	
開 催 地 期	① 東 京 2016年10月 ② 大 阪 2016年11月	
定 員	● 30名	
参 加 料 (消費税込)	① 会 員 (1名につき)	37,800円
	② 会員外 (1名につき)	54,000円

プログラム

1. 開講にあたって
2. 「カイゼン」とは
3. 物流とロジスティクス
4. TPS
5. 物流人材の育成
6. KPI (主要管理指標)
7. その他

概 要	● 車両、ドライバー、または物流センターごとに日別の収支管理を行う「収支日計」の取り組み方法について解説します。	
対 象	● 物流事業者、物流子会社、3PL 会社の配車管理者や物流管理部門の方	
会 期	● 2016年11月	
開 催 地	● 東京	
参 加 料 (消費税込)	① 会 員 (1名につき)	37,800円
	② 会員外 (1名につき)	54,000円

プログラム

1. 物流企業の経営状況
2. 「収支日計」の導入実態
3. 「収支日計」運用のポイント
4. 「収支日計」の本当の目的
5. 収益アップへのアプローチ具体策
6. 物流センターの収支日計
7. 「収支日計表作成の基礎設計」(演習)

概 要	● 物流アウトソーシングをマネジメントするための管理手法、見える化、物流 K P I の設定方法などのノウハウをケーススタディを交えて学びます。	
対 象	● 製造業、流通業の物流部門および物流企業の管理者、スタッフの方々	
開 催 地 期	① 東京 2016年11月 (2日間)	
	② 大阪 2016年11月 (2日間)	
定 員	● 30名	
参 加 料 (消費税込)	① 会 員 (1名につき)	64,800円
	② 会員外 (1名につき)	86,400円

プログラム

1. 物流のマネジメント上の課題とは
2. マネジメントを実現するための活動とは
3. 物流アウトソーシングのレベルアップのための活動とは

概 要	● 物流の高度化、最適化を目指すためのパートナーの選定、業務委託の範囲、どのような体制を構築すべきか等、3PL プロジェクトを成功させるためのノウハウを学びます。	
対 象	● 製造業、流通業の物流・ロジスティクス部門の管理者の方 ● 物流子会社、事業者の3PL 関連部門の方	
会 期	● 2017年2月	
開 催 地	● 東京	
定 員	● 30名	
参 加 料 (消費税込)	① 会 員 (1名につき)	37,800円
	② 会員外 (1名につき)	54,000円

プログラム

1. 3 PL とは
2. 3 PL への委託範囲の考え方
3. 3 PL 化に必要なこと
4. 3 PL プロバイダーの選定①
(コンペの考え方、現状業務の棚卸)
5. 3 PL プロバイダーの選定②
(委託先候補の選定、RFI、RFP)
6. 新規業務委託のポイント
7. まとめ

概 要	● 物流コスト管理システムの作成・分析、コスト削減の着眼点・方法等について、講義と演習を通じて学びます。	
対 象	● 製造業、流通業の物流部門及び物流事業者・物流子会社の管理者、コスト管理担当者	
会 期	● 2017年2月（2日間）	
開 催 地	● 東京	
定 員	● 30名	
参 加 料 (消費税込)	① 会 員（1名につき）	64,800円
	② 会員外（1名につき）	86,400円

プログラム

1. 物流コストの基礎知識
2. 物流コスト管理システムの作り方
3. 物流コスト予算実績差異分析の仕方
4. トラック運送の原価計算
5. 物流ABCを用いた物流センターのコスト管理
6. 物流コスト管理と削減の事例
7. 総合グループ演習「製造業の物流コストダウン戦略の策定」

概 要	● WMS・TMSなどロジスティクスに関わる情報システムの基礎から、実際にシステムを導入する際のポイントや提案要求書（RFP）発行とベンダ選定手法について解説いたします。	
対 象	● 物流情報システム部門の管理者、担当者の方々	
会 期	● 2017年2月	
開 催 地	● 大阪	
定 員	● 30名	
参 加 料 (消費税込)	① 会 員（1名につき）	37,800円
	② 会員外（1名につき）	54,000円

プログラム

1. はじめに
2. 情報システムの基礎知識とトレンド
3. ロジスティクスの情報システム概略
4. 物流拠点におけるIT活用（WMS）
5. 輸配送におけるIT活用（TMS）
6. 物流QCDの見える化とKPI管理（LMS）
7. 情報システム導入を成功させるコツ
8. 提案要求書（RFP）発行とベンダ選定
9. まとめ

概 要	● 物流センターにおけるコスト管理手法や、物流現場改善のスキルを学び、ケーススタディで改善実践力を鍛えます。	
対 象	● 製造業、流通業、物流業における物流センターの現場リーダー、リーダー候補の方々	
開 催 地 期	① 東 京 2017年2月（2日間） ② 大 阪 2017年2月（2日間）	
定 員	● 30名	
参 加 料 (消費税込)	① 会 員（1名につき）	64,800円
	② 会員外（1名につき）	86,400円

プログラム

1. 物流現場リーダーに必要な資質
2. 物流コスト構造化
3. 物流現場改善の基礎① 問題の把握
4. 物流現場改善の基礎② 現状分析手法
5. ケースを通じた改善アイデア検討
6. 現場をコントロールするマネジメントの実践

概 要	● 品質・生産性の管理や人員管理等物流センター長にとって必要な拠点管理に関する知識や技術、様々なノウハウを講義や演習を通して学びます。	
対 象	● 荷主企業、物流子会社、物流企業における物流拠点の管理者、監督者、グループリーダーおよび拠点管理部門の責任者、オペレーションマネージャーなど	
開 催 地 期	① 東 京 2017年2月 ② 名古屋 2017年3月	
定 員	● 30名	
参 加 料 (消費税込)	① 会 員 (1名につき)	37,800円
	② 会員外 (1名につき)	54,000円

プログラム

1. はじめに
2. センター長の役割と強い物流現場の創り方
3. 物流サービス品質の定義と業界トップ水準への改善の進め方
4. 物流コストダウン、生産性向上の進め方と改善技法
5. まとめ（強い現場力はセンター長のリーダーシップから）

概 要	● 物流現場改善の第一歩となる「気付き・問題点の把握」に焦点を当て、「問題発見の着眼点」「問題の抽出」について、事例と演習を交えながら解説します。	
対 象	● 製造業、物流企業（運送事業者・倉庫業者等）の物流現場改善のリーダーとリーダー候補	
会 期	● 2017年2月	
開 催 地	● 東京	
定 員	● 30名	
参 加 料 (消費税込)	① 会 員 (1名につき)	37,800円
	② 会員外 (1名につき)	54,000円

プログラム

1. 物流現場とはどんな場所？
2. ロジスティクスの理解と物流現場の関係
3. 物流現場の現状把握
4. 問題発見能力とは何か？
5. 問題発見の着眼点
6. 実例による改善演習



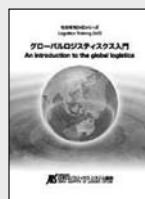
- プロローグ
- 手扱い（ハンドリング）
- フォークリフト
- 正しい荷扱いを助ける表示（ケアマーク）
- 入庫・保管・出庫作業
- エピローグ

- ◆ 日本語版／英語版ナレーション付
- ◆ 収録時間 約25分
- ◆ 価格（送料別、消費税抜き）
1本 10,000円
*別途、送料実費をご請求いたします。
（国内通常配送、1本の場合：360円）



- プロローグ
- 現品管理が悪いと
- 現品管理のまずさの要因
- 現品（物）の扱いの改善
- ミスのない現品取り扱いのアイデア
- 事務処理の改善
- 例外処理のルール化
- 現品棚卸の正確性向上
- 教育訓練と評価
- エピローグ

- ◆ 日本語版／英語版ナレーション付
- ◆ 収録時間 約25分
- ◆ 価格（送料別、消費税抜き）
1本 10,000円
*別途、送料実費をご請求いたします。
（国内通常配送、1本の場合：360円）



- プロローグ
- 生産・流通の変化とグローバル化
- 物流管理
- 国際物流
- エピローグ

- ◆ 日本語版／英語版ナレーション付
- ◆ 収録時間 約40分
- ◆ 価格（送料別、消費税抜き）
1本 20,000円
*別途、送料実費をご請求いたします。
（国内通常配送、1本の場合：360円）
*ホームページにサンプル映像があります。



- プロローグ
- グリーンロジスティクス概要
- 低炭素型社会の課題と対策
- 循環型社会の課題と対策
- 貨物輸送分野における環境負荷の削減方法
- 循環型社会形成方策、3 R
- エピローグ

- ◆ 日本語版
- ◆ 収録時間 約40分
- ◆ 価格（送料別、消費税抜き）
1本 20,000円
*別途、送料実費をご請求いたします。
（国内通常配送、1本の場合：360円）
*ホームページにサンプル映像があります。

DVDはJILSホームページからお申し込みいただけます。

トップ



調査・統計
機関誌・出版物



書籍・
教育 DVD

※当協会のホームページは、www.logistics.or.jp または「JILS」で検索してください。

- 27～29は英語ナレーションもついていますので、
海外現地法人での人材教育などにもご活用いただけます。

※リージョンフリーですので、DVD プレーヤの地域設定に関わらず利用できます。

※DVD をテレビに出力する場合には、NTSC方式（日・米等）のテレビをご利用ください。
なお、パソコンで出力する場合には信号方式による影響はありません。

【割引セット販売】

セットでお買い求めいただくと、割引価格になります（割引は同時にFAX又はウェブでお申込みの場合のみに適用となります）。

27+28セット (5,000円割引)	15,000円 (税・送料別)
29+30セット (5,000円割引)	35,000円 (税・送料別)

※物流教育DVDの価格は消費税抜きでの記載をしております。

税込み価格はご注文時期により異なりますので、別途お問い合わせください。

31 社内教育

当協会では公開制の各種講座やセミナーを開催するとともに、各企業オリジナルのオーダーメイドの社内教育を実施しております。

<社内教育のメリット>

- 完全オーダーメイドの教育プログラム・教材をご提供いたしますので、貴社の教育ニーズ・レベルに合わせた内容となります。
- 日数、開催日、会場など、貴社のご都合に合わせた調整が可能です。
- 貴社に在籍する資格取得者を活用した、各種講座と連携した中・長期的な人材育成についても、ご相談ください。

<社内教育の流れ>

- | | |
|--------------|---|
| 1.お問い合わせ・ご相談 | 貴社の人材育成に関する悩み事、人材育成ニーズ等について、お聞かせください。 |
| 2.教育プログラムの提示 | 貴社のニーズに応じた教育プログラムをご提示いたします。
※貴社の関係者をご納得いただくまで、内容の調整をいたします。 |
| 3.テキストの作成 | 貴社向け教育プログラムに対応したテキストを作成いたします。 |
| 4.教育プログラムの実施 | 専門講師による、講義を実施いたします。 |
| 5.フォローアップの実施 | 実施プログラムの評価、次回への提案等をさせていただきます。 |

<社内教育メニュー>

以下に示すのは一例ですので、詳細は当協会 企画推進部宛にお問い合わせください。

分 類	コ ー ス 名 (例)
階層別教育コース	経営幹部コース／管理・監督者レベルアップコース／物流管理実践力強化コース／新入社員基礎コース 等
テーマ別教育コース 【基 礎】	ロジスティクスシステム／国際物流／物流コスト管理／営業力強化／物流現場改善／グリーン物流 等
テーマ別教育コース 【実 践】	物流提案営業／輸配送システム効率化／倉庫管理／在庫管理／物流安全衛生／環境負荷低減施策 等

32 コンサルティング

- ロジスティクスに精通したコンサルタントとの協業により、ロジスティクスに関する戦略立案・効率化・コストダウン・情報化など、ロジスティクスにおける経営革新を支援いたします。

33 通信教育

(監修) 公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会

- 詳細につきましては、各実施機関のホームページをご覧ください。

実 施 機 関	コ ー ス 名	対 象 者	期 間
学校法人 産業能率大学	物流の仕事がわかる	初めて物流の仕事に携わる方、物流の基本を再確認・強化したい中堅クラスの担当の方、物流の知識を必要とする他業界・他部門の担当者の方	2ヵ月
	物流技術を極める	物流管理部門の担当者、物流業の中堅～管理・監督者、その他企業の管理、監督者	2ヵ月
	ロジスティクス・マネジメントを極める	物流業をはじめとする企業の管理・監督者、経営企画、システム構築などに携わる方	2ヵ月

人材育成のための支援ツール（手引書・診断ツール）

当協会のホームページより各種支援ツールをご活用ください。

34		物流現場改善推進のための手引書 [改訂版] ※タイ荷主協会が翻訳した「タイ語版」も当協会ホームページに掲載しております。 http://www.logistics.or.jp/education/support.html
35		物流現場で働く中堅管理者(現場主任・リーダー)育成の手引き http://www.logistics.or.jp/education/support.html
36		グリーンロジスティクスガイド http://www.logistics.or.jp/green/report/08greenguide_00.html
37		グリーン物流ってなんだろう？ http://www.logistics.or.jp/green/info/info.html
38		キャリアアップ診断・チェックリスト ・物流現場改善リーダーキャリアアップ診断 ・問題発見チェックリスト ・現場活性サイクルチェックリスト ・グリーンロジスティクスチェックリスト http://www.logistics.or.jp/education/checklist.html

先進事例から学ぶ

*39～42は、有資格者優待の対象です。

39	ロジスティクス全国大会 2016 東京 <table border="1" data-bbox="300 439 914 622"> <tr> <td>開催時期</td><td>● 2016年10月（2日間）</td></tr> <tr> <td>開催場所</td><td>● 東京</td></tr> <tr> <td>参加料 (消費税込)</td><td>● ①36,720円（会員） ②60,480円（会員外） ③29,700円（有資格者優待）</td></tr> </table> 経営マネジメントの視点から、グローバル、環境、コンプライアンス、人材育成など必須テーマのもとにロジスティクス高度化に向けた取組事例が発表されます。毎年全国からロジスティクス関係者が一堂に集い、活発な交流が行われます。	開催時期	● 2016年10月（2日間）	開催場所	● 東京	参加料 (消費税込)	● ①36,720円（会員） ②60,480円（会員外） ③29,700円（有資格者優待）
開催時期	● 2016年10月（2日間）						
開催場所	● 東京						
参加料 (消費税込)	● ①36,720円（会員） ②60,480円（会員外） ③29,700円（有資格者優待）						
40	ロジスティクス関西大会 2017 大阪 <table border="1" data-bbox="300 730 914 913"> <tr> <td>開催時期</td><td>● 2017年2月（2日間）</td></tr> <tr> <td>開催場所</td><td>● 大阪</td></tr> <tr> <td>参加料 (消費税込)</td><td>● ①33,480円（会員） ②56,160円（会員外） ③25,920円（有資格者優待）</td></tr> </table> ロジスティクスを通じて、グローバル競争に対応する経営戦略を啓発し、最新の革新動向について情報発信するとともに、参加者相互の情報交流を通して、新世紀のロジスティクスのあり方を検討します。	開催時期	● 2017年2月（2日間）	開催場所	● 大阪	参加料 (消費税込)	● ①33,480円（会員） ②56,160円（会員外） ③25,920円（有資格者優待）
開催時期	● 2017年2月（2日間）						
開催場所	● 大阪						
参加料 (消費税込)	● ①33,480円（会員） ②56,160円（会員外） ③25,920円（有資格者優待）						
41	中部ロジスティクス講演会 2016 名古屋 <table border="1" data-bbox="300 1023 914 1207"> <tr> <td>開催時期</td><td>● 2016年10月（1日）</td></tr> <tr> <td>開催場所</td><td>● 名古屋</td></tr> <tr> <td>参加料 (消費税込)</td><td>● ①12,960円（会員） ②21,600円（会員外） ③ 9,720円（有資格者優待）</td></tr> </table> 中部地域のロジスティクス関係者が一堂に集い、講演や懇親会を通じて、ロジスティクスの視点からの経営戦略や最新の革新動向に関する活発な情報交流を行います。	開催時期	● 2016年10月（1日）	開催場所	● 名古屋	参加料 (消費税込)	● ①12,960円（会員） ②21,600円（会員外） ③ 9,720円（有資格者優待）
開催時期	● 2016年10月（1日）						
開催場所	● 名古屋						
参加料 (消費税込)	● ①12,960円（会員） ②21,600円（会員外） ③ 9,720円（有資格者優待）						
42	九州ロジスティクス講演会 2016 福岡 <table border="1" data-bbox="300 1319 914 1503"> <tr> <td>開催時期</td><td>● 2016年10月（1日）</td></tr> <tr> <td>開催場所</td><td>● 福岡</td></tr> <tr> <td>参加料 (消費税込)</td><td>● ① 8,640円（会員） ②17,280円（会員外） ③ 5,400円（有資格者優待）</td></tr> </table> 九州・山口地域のSCM・ロジスティクス関係者が一堂に集い、ロジスティクスの視点から経営戦略や最新の動向に関する活発な情報交換を行います。	開催時期	● 2016年10月（1日）	開催場所	● 福岡	参加料 (消費税込)	● ① 8,640円（会員） ②17,280円（会員外） ③ 5,400円（有資格者優待）
開催時期	● 2016年10月（1日）						
開催場所	● 福岡						
参加料 (消費税込)	● ① 8,640円（会員） ②17,280円（会員外） ③ 5,400円（有資格者優待）						
43	テーマ別研究会 東京 大阪 名古屋 福岡 <table border="1" data-bbox="300 1615 914 1798"> <tr> <td>開催時期</td><td>● 2016年5月～2017年3月</td></tr> <tr> <td>開催場所</td><td>● 東京、大阪、名古屋、福岡</td></tr> <tr> <td>参加料 (消費税込)</td><td>● ①5,400円～16,200円（会員） 1回あたり ②10,800円～32,400円（会員外） 1回あたり * 会合によって異なりますので、詳細は各会合の案内にてご確認ください。</td></tr> </table> 最新の行政動向、物流コスト調査等の研究成果や優れた企業事例等を紹介する。ロジスティクス・SCMの動向を把握し、課題解決のヒントを見い出す。	開催時期	● 2016年5月～2017年3月	開催場所	● 東京、大阪、名古屋、福岡	参加料 (消費税込)	● ①5,400円～16,200円（会員） 1回あたり ②10,800円～32,400円（会員外） 1回あたり * 会合によって異なりますので、詳細は各会合の案内にてご確認ください。
開催時期	● 2016年5月～2017年3月						
開催場所	● 東京、大阪、名古屋、福岡						
参加料 (消費税込)	● ①5,400円～16,200円（会員） 1回あたり ②10,800円～32,400円（会員外） 1回あたり * 会合によって異なりますので、詳細は各会合の案内にてご確認ください。						
44	ロジスティクスシステム研究会（年間登録制） 東京 <table border="1" data-bbox="300 1910 914 2058"> <tr> <td>開催時期</td><td>● 2016年5月～2017年3月（全10回）</td></tr> <tr> <td>開催場所</td><td>● 東京</td></tr> <tr> <td>参加料 (消費税込)</td><td>● ① 97,200円（会員） 1名あたり ② 126,360円（会員外） 1名あたり</td></tr> </table> 日本を含め、グローバルな視点でSCM&物流に関わる様々な切り口(テーマ)から、製造業、流通業、物流子会社、3PL/物流業、サービス業等の研究会メンバーが自身の取組(事例)をベースに、問題・課題を提示し、メンバー同士が「三現主義」に基づくディスカッションを通して、解決のヒントを見出す機会を提供します。	開催時期	● 2016年5月～2017年3月（全10回）	開催場所	● 東京	参加料 (消費税込)	● ① 97,200円（会員） 1名あたり ② 126,360円（会員外） 1名あたり
開催時期	● 2016年5月～2017年3月（全10回）						
開催場所	● 東京						
参加料 (消費税込)	● ① 97,200円（会員） 1名あたり ② 126,360円（会員外） 1名あたり						

45	食品ロジスティクス研究会（年間登録制） 東京 <table border="1" data-bbox="300 188 912 338"> <tr> <td>開催時期</td><td>● 2016年5月～2017年3月（全10回）</td></tr> <tr> <td>開催場所</td><td>● 東京</td></tr> <tr> <td>参加料 (消費税込)</td><td>● ①100,000円（会員） 1名あたり ②130,000円（会員外） 1名あたり</td></tr> </table> 加工食品メーカーのロジスティクス責任者による情報交流を目的とし、メンバー相互の事例発表、物流センター見学などを行います。	開催時期	● 2016年5月～2017年3月（全10回）	開催場所	● 東京	参加料 (消費税込)	● ①100,000円（会員） 1名あたり ②130,000円（会員外） 1名あたり
開催時期	● 2016年5月～2017年3月（全10回）						
開催場所	● 東京						
参加料 (消費税込)	● ①100,000円（会員） 1名あたり ②130,000円（会員外） 1名あたり						
46	物流子会社懇話会（年間登録制） 東京 <table border="1" data-bbox="300 443 912 593"> <tr> <td>開催時期</td><td>● 2016年4月～2017年3月（全11回）</td></tr> <tr> <td>開催場所</td><td>● 東京</td></tr> <tr> <td>参加料 (消費税込)</td><td>● ① 226,800円（会員） 1社(2名登録可) ② 356,000円（会員外） 1社(2名登録可)</td></tr> </table> 物流管理会社、物流子会社のトップマネジメントの方々が集い、自社、業界の経営全般に関する様々な問題や課題をとりあげ、その対策や解決方法についてメンバー相互の意見交換と積極的な情報交流、現地視察や外部講師の招聘等を行い、物流管理会社、物流子会社のあるべき方向を探っていきます。	開催時期	● 2016年4月～2017年3月（全11回）	開催場所	● 東京	参加料 (消費税込)	● ① 226,800円（会員） 1社(2名登録可) ② 356,000円（会員外） 1社(2名登録可)
開催時期	● 2016年4月～2017年3月（全11回）						
開催場所	● 東京						
参加料 (消費税込)	● ① 226,800円（会員） 1社(2名登録可) ② 356,000円（会員外） 1社(2名登録可)						
47	関西ロジスティクス研究会（年間登録制） 大阪 <table border="1" data-bbox="300 728 912 878"> <tr> <td>開催時期</td><td>● 2016年5月～2017年3月（全11回）</td></tr> <tr> <td>開催場所</td><td>● 大阪</td></tr> <tr> <td>参加料 (消費税込)</td><td>● ① 81,000円（会員） 1名あたり ②105,840円（会員外） 1名あたり</td></tr> </table> 最新ロジスティクス事情の収集や潮流、最新情報等の収集、現場見学、他業界・他企業との交流を目的とし、活発な討議により情報の共有化を促進します。	開催時期	● 2016年5月～2017年3月（全11回）	開催場所	● 大阪	参加料 (消費税込)	● ① 81,000円（会員） 1名あたり ②105,840円（会員外） 1名あたり
開催時期	● 2016年5月～2017年3月（全11回）						
開催場所	● 大阪						
参加料 (消費税込)	● ① 81,000円（会員） 1名あたり ②105,840円（会員外） 1名あたり						
48	九州ロジスティクス活性化研究会（年間登録制） 福岡 <table border="1" data-bbox="300 981 912 1131"> <tr> <td>開催時期</td><td>● 2016年6月～2017年3月（全9回）</td></tr> <tr> <td>開催場所</td><td>● 福岡</td></tr> <tr> <td>参加料 (消費税込)</td><td>● ① 54,000円（会員） 1名あたり ② 70,200円（会員外） 1名あたり</td></tr> </table> 九州・山口地域の会員による、事例交流や専門家による最新情報の解説などを通して、人脈形成と相互啓発を促進し、参加メンバーの課題解決を支援します。	開催時期	● 2016年6月～2017年3月（全9回）	開催場所	● 福岡	参加料 (消費税込)	● ① 54,000円（会員） 1名あたり ② 70,200円（会員外） 1名あたり
開催時期	● 2016年6月～2017年3月（全9回）						
開催場所	● 福岡						
参加料 (消費税込)	● ① 54,000円（会員） 1名あたり ② 70,200円（会員外） 1名あたり						

49

国際物流総合展 2016 LOGIS-TECH TOKYO 2016

開催概要

目的	内外の最新物流機器・システム・サービス等のソフトとハードを一堂に結集し、交易振興・技術の向上・情報の提供・人的交流等を促進することを目的とする。	テーマ	物流展で見つけよう～課題解決のネクストステップ～
会期	2016年9月13日(火)～16日(金) 10:00～17:00	会場	東京ビッグサイト 東展示棟
主催	一般社団法人日本産業機械工業会 一般社団法人日本運搬車両機器協会 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会	一般社団法人日本産業車両協会 一般社団法人日本物流システム機器協会 一般社団法人日本能率協会	一般社団法人日本パレット協会
展示予定規模	450社／1,850小間（共同出展含む） （前回：418社 1,701小間）	出展料 (税抜)	会員 1小間目： 370,000円 2小間目以降： 320,000円 会員外 1小間目： 440,000円 2小間目以降： 380,000円 ※（1小間：間口2.97m×奥行2.97m×高さ2.7m）
入場予定者	135,000名（前回：132,503名） 全産業の経営トップ、経営企画・戦略部門、SCM部門、ロジスティクス部門、物流・流通管理部門、調達・購買部門、生産管理・生産技術部門、情報システム部門、企画・販売部門、マーケティング・調査、行政機関・団体・学校の関係者 など	入場登録料 (消費税込)	1,000円 （※ただし、招待状・事前登録証持参者は無料）

物流改善事例から学ぶ

*50～53は、有資格者優待の対象です。

50	全日本物流改善事例大会 2016 東京 <table border="1"> <tr> <td>開催時期</td><td>● 2016年4月・5月（2日間開催）</td></tr> <tr> <td>開催場所</td><td>● 東京</td></tr> <tr> <td>参加料 (消費税込)</td><td>● ①36,720円（会員） ②60,480円（会員外） ③29,700円（有資格者優待）</td></tr> </table> 物流の現場において合理化の成果をあげている優れた改善事例をご発表いただき、実務担当者が各々の現場の課題解決の手がかりやノウハウを共有し合うことで、視野を広げ、今後の物流合理化活動の推進に役立つことをねらいとしています。	開催時期	● 2016年4月・5月（2日間開催）	開催場所	● 東京	参加料 (消費税込)	● ①36,720円（会員） ②60,480円（会員外） ③29,700円（有資格者優待）		
開催時期	● 2016年4月・5月（2日間開催）								
開催場所	● 東京								
参加料 (消費税込)	● ①36,720円（会員） ②60,480円（会員外） ③29,700円（有資格者優待）								
51	関西物流改善事例発表会 2016 大阪 <table border="1"> <tr> <td>開催時期</td><td>● 2016年10月（1日）</td></tr> <tr> <td>開催場所</td><td>● 大阪</td></tr> <tr> <td>参加料 (消費税込)</td><td>● ①16,200円（会員） ②24,840円（会員外） ③10,800円（有資格者優待）</td></tr> </table> 主に関西地域の物流現場における改善事例をご発表いただき、その手法やノウハウを共有することで、さらなる物流合理化活動の推進に役立つことをねらいとしています。	開催時期	● 2016年10月（1日）	開催場所	● 大阪	参加料 (消費税込)	● ①16,200円（会員） ②24,840円（会員外） ③10,800円（有資格者優待）		
開催時期	● 2016年10月（1日）								
開催場所	● 大阪								
参加料 (消費税込)	● ①16,200円（会員） ②24,840円（会員外） ③10,800円（有資格者優待）								
52	中部物流改善事例発表会 2016 名古屋 <table border="1"> <tr> <td>開催時期</td><td>● 2016年11月（1日）</td></tr> <tr> <td>開催場所</td><td>● 名古屋</td></tr> <tr> <td>参加料 (消費税込)</td><td>● ① 8,640円（会員） ②10,800円（会員外） ③ 5,400円（有資格者優待）</td></tr> </table> 主に中部地域の物流現場における改善事例をご発表いただき、その手法やノウハウを共有することで、さらなる物流合理化活動の推進に役立つことをねらいとしています。	開催時期	● 2016年11月（1日）	開催場所	● 名古屋	参加料 (消費税込)	● ① 8,640円（会員） ②10,800円（会員外） ③ 5,400円（有資格者優待）		
開催時期	● 2016年11月（1日）								
開催場所	● 名古屋								
参加料 (消費税込)	● ① 8,640円（会員） ②10,800円（会員外） ③ 5,400円（有資格者優待）								
53	九州物流改善事例発表会 2017 福岡 <table border="1"> <tr> <td>開催時期</td><td>● 2017年2月（1日）</td></tr> <tr> <td>開催場所</td><td>● 福岡</td></tr> <tr> <td>参加料 (消費税込)</td><td>● ① 7,560円（会員） ②10,800円（会員外） ③ 5,400円（有資格者優待）</td></tr> </table> 主に九州・山口地域の物流現場における改善事例をご発表いただき、その手法やノウハウを共有することで、さらなる物流合理化活動の推進に役立つことをねらいとしています。	開催時期	● 2017年2月（1日）	開催場所	● 福岡	参加料 (消費税込)	● ① 7,560円（会員） ②10,800円（会員外） ③ 5,400円（有資格者優待）		
開催時期	● 2017年2月（1日）								
開催場所	● 福岡								
参加料 (消費税込)	● ① 7,560円（会員） ②10,800円（会員外） ③ 5,400円（有資格者優待）								
54	物流合理化賞 <table border="1"> <tr> <td colspan="2">【2015年度 物流合理化賞】</td></tr> <tr> <td colspan="2">・タブレット端末導入による作業標準化について（品質・効率の向上） 佐川グローバルロジスティクス株式会社</td></tr> <tr> <td colspan="2">・大型ビニール袋の取り出し性改善（大型ビニール袋の収納具の開発） 株式会社スバルロジスティクス</td></tr> <tr> <td colspan="2">・メーカーに出来る物流改善「外装表示／設計の最適化」で、作業効率化、物流品質向上を目指す！ 味の素株式会社</td></tr> </table> 物流合理化賞とは、全日本物流改善事例大会にて発表された改善事例の中から、特に優れた内容と成果が認められた改善事例に対して「物流合理化賞」、「物流合理化努力賞」を贈り表彰しています。	【2015年度 物流合理化賞】		・タブレット端末導入による作業標準化について（品質・効率の向上） 佐川グローバルロジスティクス株式会社		・大型ビニール袋の取り出し性改善（大型ビニール袋の収納具の開発） 株式会社スバルロジスティクス		・メーカーに出来る物流改善「外装表示／設計の最適化」で、作業効率化、物流品質向上を目指す！ 味の素株式会社	
【2015年度 物流合理化賞】									
・タブレット端末導入による作業標準化について（品質・効率の向上） 佐川グローバルロジスティクス株式会社									
・大型ビニール袋の取り出し性改善（大型ビニール袋の収納具の開発） 株式会社スバルロジスティクス									
・メーカーに出来る物流改善「外装表示／設計の最適化」で、作業効率化、物流品質向上を目指す！ 味の素株式会社									

物流施設を見学して学ぶ

*物流施設の見学を通して、最新の物流技術、物流現場の運営方法等を研究します。

55	物流テクノロジー現地フォーラム 2016 東京 大阪 <table border="1"> <tr> <td rowspan="4">東京開催</td><td>● 2016年5月～2017年3月</td></tr> <tr> <td>● 期間中に9回</td></tr> <tr> <td>● ①162,000円（会員）（消費税込） ②194,400円（会員外）（消費税込）</td></tr> <tr> <td>● ①136,080円（会員）（消費税込） ②174,960円（会員外）（消費税込）</td></tr> <tr> <td rowspan="4">大阪開催</td><td>● 2016年7月～2017年3月</td></tr> <tr> <td>● 期間中に7回</td></tr> <tr> <td>● ①136,080円（会員）（消費税込） ②174,960円（会員外）（消費税込）</td></tr> <tr> <td>● ①136,080円（会員）（消費税込） ②174,960円（会員外）（消費税込）</td></tr> </table> 技術革新の著しい物流テクノロジー、効率的な運営を行っている物流現場に焦点をあて、現地研修ならびに施設見学を通して、最新の物流技術、物流現場の運営方法等を研究します。	東京開催	● 2016年5月～2017年3月	● 期間中に9回	● ①162,000円（会員）（消費税込） ②194,400円（会員外）（消費税込）	● ①136,080円（会員）（消費税込） ②174,960円（会員外）（消費税込）	大阪開催	● 2016年7月～2017年3月	● 期間中に7回	● ①136,080円（会員）（消費税込） ②174,960円（会員外）（消費税込）	● ①136,080円（会員）（消費税込） ②174,960円（会員外）（消費税込）
東京開催	● 2016年5月～2017年3月										
	● 期間中に9回										
	● ①162,000円（会員）（消費税込） ②194,400円（会員外）（消費税込）										
	● ①136,080円（会員）（消費税込） ②174,960円（会員外）（消費税込）										
大阪開催	● 2016年7月～2017年3月										
	● 期間中に7回										
	● ①136,080円（会員）（消費税込） ②174,960円（会員外）（消費税込）										
	● ①136,080円（会員）（消費税込） ②174,960円（会員外）（消費税込）										

56

現場研究会

東京

大阪

名古屋

福岡

開催時期	● 2016年5月～2017年3月
開催場所	● 東京、大阪、名古屋、福岡
参加料 (消費税込)	● ①5,400円～16,200円(会員) 1回あたり ● ②10,800円～32,400円(会員外) 1回あたり *会合によって異なりますので、詳細は各会合の案内にてご確認ください。

先端設備・技術や巧みな運用で効率を上げている物流施設を見学するとともに、訪問先担当者との情報交流をはかります。

57

物流現場改善研究会

名古屋

開催時期	● 2016年5月～9月(全5回)
開催場所	● 名古屋
参加料 (消費税込)	● ①97,200円(会員) 1名あたり ● ②145,800円(会員外) 1名あたり

「問題の洗い出し、要因解析」を中心に「自社・自身とは異なる視点」を見出し、物流現場における問題を認識し、解決する力を養成するため、《講義+現場見学+ディスカッション》の3つのアプローチから「学んで実践する」ためのプログラムとなっています。

最新の調査結果より学ぶ

JILSは、多元化するロジスティクスの諸問題について、調査分析・研究開発を行うとともに、経営支援活動やデータベースの構築をとおり、的確な情報発信を行い、あわせて、時代をリードする提言の実施や問題解決のグランドデザインを提供すること等を目標にしています。

【主要調査】

58	物流コスト調査 (http://www.logistics.or.jp/data/survey/cost.html) 物流コストのデータ、算定方法、コスト削減策実施状況
59	物流システム機器生産出荷統計 (http://www.logistics.or.jp/data/survey/manufacture.html) 物流システム機器(マテハン機器)の出荷金額、出荷数量等の統計
60	ロジスティクス評価指標(KPI)調査 (http://www.logistics.or.jp/data/survey/kpi.html) ロジスティクスの標準的な業績評価指標の体系、ベンチマーク

【2014年度の主な実績】

●経済産業省補助事業「平成26年度次世代物流システム構築事業費補助金」により実施した調査及び補助事業

※詳細：http://www.logistics.or.jp/jils_news/2015/09/2014-6.html

<調査>

1. コンテナラウンドユースの推進に向けた調査研究
2. アジア新興国進出企業の物流・調達の最適化に伴う障壁等調査
3. 消費財流通事業者における物流効率化に向けた課題と今後の対応策に関する調査研究
4. 荷主連携による共同物流の調査研究
5. 荷主連携によるエリア共同配送推進の手引き
発荷主連携による共同物流取組宣言
6. 荷主企業の今後の物流戦略に関する調査

<補助事業>

1. 建材メーカーから建設現場までの新たな物流体系の構築
2. タンクコンテナ洗浄のための回送削減事業
3. 物流情報システム連携による海上コンテナの国際高品質異業種混載事業
4. 台車型物流支援ロボットの実用化に向けた実証事業
5. 成層空調方式による開放系物流倉庫における作業環境改善プロジェクト
6. 需要予測の精度向上・共有化による省エネ物流プロジェクト
7. 内航海運の輸送品質向上によるモーダルシフト促進プロジェクト

公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会 入会のご案内

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会はロジスティクスシステムの高度化と普及推進を使命とし、あらゆる業種からの844社(2015年11月現在)の会員により組織・運営されております。会員には様々な特典が用意されております。是非この機会にご入会いただき、貴社のロジスティクス高度化のためにご活用ください。

会員特典	
1) テーマ別研究会・現場研究会への参加(実費) 2) 機関誌『ロジスティクスシステム』の無料配布(年間4号発行予定) 3) 各種情報サービス 4) 当協会主催展示会の入場券無料配布	5) 事業利用上の特典 ① セミナー、フォーラム、大会等の参加料割引 ② 資格認定講座の受講料割引 ③ 当協会主催展示会の出展料の割引 ④ 講師派遣、企業内教育の支援 ⑤ コンサルティング、診断の相談

- ・入会は随時受け付けております。当協会の趣旨にご賛同の法人であれば所定の手続きを経て、ご入会いただけます。
- ・入会金：1万円 ・年会費：12万円(1口につき) *年度途中のご入会の場合は、月割計算いたします。

ロジスティクスコンセプト 2020

当協会では、創立20周年記念事業として実施した「2020年ロジスティクス総合調査」の成果の一部として「ロジスティクスコンセプト2020」を作成しました。

「ロジスティクスコンセプト2020」は、産業界、社会に対し、将来におけるロジスティクスのあるべき姿とそれを実現するための取り組み方針を示しております。

【これからのロジスティクスのあるべき姿】

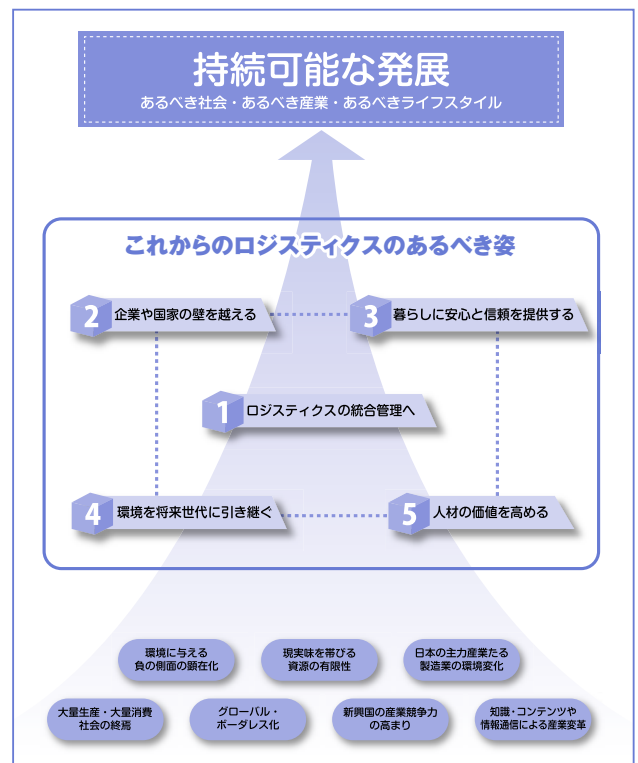
ロジスティクスを物流管理の延長で語る時代は終わりました。戦後長く先進工業国であった日本は、今や大量生産・大量消費を前提としたこれまでの産業構造とそれを基盤とした社会構造から、大きく転換しつつあります。その中でロジスティクスのあり方も、物の移動だけではなく、産業や生活の場に届けられる価値に主眼を置いたものへと、変革を迫られています。

現代の社会・産業は、それが環境に与える負の側面が顕在化し、資源の有限性が現実味を増すに伴って、環境への調和と資源の有効活用に立脚した、持続可能な構造へと転換することが求められています。また、日本はそのような社会・産業構造の転換を先導する立場にあります。

一方で、日本を取り巻く状況に目を転じると、先進国の競争優位を支えてきた科学技術や教育・インフラ等の社会システムが普遍化して新興国の産業化が進展すると同時に、これまで日本の主力産業であった製造業を取り巻く環境が変化して来ています。それに伴い、国内雇用が縮小し、より競争的で流動的な労働環境へ移行する等の影響も顕在化しています。これに対して、インターネット等の分野で新たな産業が生まれたり、あるいは製造・流通・出版・金融等の既存の企業が、知識・コンテンツや情報通信に着目した新たなビジネスモデルへと転換したり、あるいは環境問題に対応するため、省エネルギーや代替エネルギー、リサイクル等を担う新たな産業が誕生するといった動きも出てきており、今や日本の産業構造が大きく変化しつつあります。

このような変化に対して引き続き日本の産業活動と国民生活を維持・発展させるため、これからのロジスティクスは、その基本に立ち戻って企業内の統合管理を徹底したうえで、全体最適の視野を拡げて、グローバル化するサプライチェーンの効率性と持続可能性を高め、安全・安心な生活に貢献するようなマネジメントへと発展しなければなりません。また、ロジスティクスは産業および社会における上記のような役割を果たすだけでなく、その領域をさらに拡大し、社会の持続可能なライフスタイルへの変革の一端を担うことも望まれます。

* 詳細の冊子版は当協会のホームページよりダウンロードが可能です。 <http://www.logistics.or.jp/propulsion/index.html>



JILS-netのご案内

ロジスティクス関連の最新ニュースを毎日更新。物流サービスや企業の最前線を紹介します。

注目ポイント1 ロジスティクス最新ニュースとキーマンや現場の取材記事をお届け

鮮度の高いニュースと取材でトレンドが分かる

- ロジスティクス関連の最新ニュースを毎日更新。物流サービスや企業の最前線を紹介します。
- 特集コーナーでは、業界キーマンへのインタビューや会員企業の現場などを定期的に取材いたします。

業務に直結！ 受賞者インタビューを今すぐチェック

改善ポイントはコミュニケーションにある！ 2015年度物流合理化賞発表

<https://www.jils-net.com/special/sp20150715.php>

注目ポイント2 PCでもスマホでも。いつでも最新情報をチェック！

移動中にもスマホで見やすく

全ページスマートフォンサイズに対応。オフィスや出先で最新ニュースが簡単にチェックできます。

新着情報はFacebookとTwitterで

FacebookとTwitterの公式アカウントを開設しました。ご自分のタイムラインにJILS-netの新着記事が届きます。

注目ポイント3 会員間でつながる・ひろがる！ ロジスティクスの課題解決・自社PRに活用（JILS会員限定）

さまざまな投稿・写真や資料のアップロードができるのは、JILS会員（JILS-netでは「JILS-net正会員」となります）だけが利用できる限定サービス*。自社商品・サービスの告知から、会員同士の相談・情報収集まで、使い次第でビジネスの幅が広がります。

*情報の閲覧はどなたでも利用可能です。投稿のみ限定サービスとなります。

JILS会員の方は、簡単な登録作業だけですぐにご利用いただけます

JILS-net <https://www.jils-net.com/>

パンフレット送付依頼フォーム

この『人材育成支援ガイド2016』に記載されている資格認定講座、セミナー、各種催し等に関する、詳細パンフレットをご送付いたしますので、下記の送付依頼フォームに必要事項をご記入の上、E-mailもしくはFAXにて、事務局までご請求ください。

各パンフレットとも、開催日の1ヵ月前までには、郵送させていただきます。

【お問い合わせ先】 公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会

本 部	〒105-0022 東京都港区海岸1-15-1 スズエベイディウム3F T E L 03-3436-3191 F A X 03-3436-3190 担当：業務管理部 (shien@logistics.or.jp)
関西支部	〒530-0001 大阪市北区梅田2-2-22 ハービスENT オフィスタワー19階 T E L 06-4797-2070 F A X 06-4797-2071 担当：高橋 (takahashi@logistics.or.jp)
中部支部	〒450-0003 名古屋市中村区名駅南4-12-17 T E L 052-588-3011 F A X 052-588-3012 担当：大川 (chubu@logistics.or.jp)

ご送付先

所 在 地	〒		
お 会 社 名			
ご 所 属			
お 役 職			
ふ り が な		電 話	F A X
お 名 前			
E - m a i l			

ご希望のパンフレット

NO	プログラム名 (資格認定講座名・セミナー名など)	受講希望場所 ※○印をご記入ください	備 考 欄
		() 東京 () 大阪 () 名古屋 () 福岡	
		() 東京 () 大阪 () 名古屋 () 福岡	
		() 東京 () 大阪 () 名古屋 () 福岡	
		() 東京 () 大阪 () 名古屋 () 福岡	

- このパンフレット送付依頼フォームは申込書ではありません。
お申し込みには各プログラムの詳細パンフレットをご利用くださいますようお願いいたします。

個人情報のお取り扱いについて

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は、当協会のプライバシーポリシー (<http://www.logistics.or.jp/privacy.html>) をご覧ください。

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 (<http://www.logistics.or.jp>)

公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会

本 部 〒105-0022 東京都港区海岸1-15-1 スズエベイディアム3F
TEL 03-3436-3191 FAX 03-3436-3190

関西支部 〒530-0001 大阪市北区梅田 2-2-22 ハービスENTオフィスタワー19階
TEL 06-4797-2070 FAX 06-4797-2071

中部支部 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南4-12-17
TEL 052-588-3011 FAX 052-588-3012
